

産建文教常任委員会

「日本の紅あかをつくる町」の認知度は

3月9日に委員会が開催され、日本の紅（あか）をつくる町推進事業の取組み状況について説明を受けた。

主な事業

- ◆全体プロデュース
  - ・推進本部会議開催
- ◆紅花関連新商品開発
  - ・「シラタカ・レッド商品開発発表会並びに即売会」開催
- ◆戦略会議設置
  - ・検証と今後の取組みを検討する。

質疑

紅花の連作障害は

**委員** 連作障害の有無が話題になる。真偽のほどは。

**当局** 連作障害は避けられないというのが県農業試験場の結論。紅花生産の難しさや苦勞話をコミュニケーションの一つにしてもらいたい。



「シラタカ・レッド」の即売会

町民の意見を広く

**委員** 一般町民の意見をどう取り入れるのか。  
**当局** まずは戦略会議から意見をもらおう。また町報にも出すなどして見える化し、町民の方々からも意見をもらいたい。

町外にもPRを

**委員** 開発した商品は県外・町外にPRすべきだ。町内に力が入りすぎている。  
**当局** 工夫しながら販路拡大に取り組む。リゾート地の土産物店に置いてもらえないか打診している。

ITを利用してPRを  
じょうずに！

10カ月で158人の転入者（29年4月～30年1月）  
移住定住の取組み状況について説明を受けた。

☆移住者は増えるのか！

- ◆移住者数（1月末現在）
  - ・転入者 158人
  - ・移住世帯 29世帯
- ◆移住推進の取組み
  - ・相談会開催9回
  - ・相談者90人
  - ・移住体験ツアー参加者21人
- ◆空き家活用支援
  - ・空き家バンク物件の契約者へ助成

質疑

空き家バンク充実を

**委員** 空き家バンクの写真の見せ方など、工夫が必要では。

**当局** 改修にお金をかけたくないケースが多いのではないかと。

若者の相談件数は

**委員** 若い方の相談件数は。  
**当局** 相談者90人のうち半数が50代以上で、移住して起業したいという人が多い。  
新・農業人フェアは若者が多い。



Uターンしたい若者を後押しする施策を

**委員** 若い人同士で相談し合っているようだが、後押しする施策を考えるべきだ。  
**当局** 力を注いでいく。情報をいただければありがたい。

若者のニーズを知る工夫を！

- その他
- 白鷹町水道事業経営戦略
  - 荒砥橋架替工事進捗状況
  - 除雪（積雪・雪押し場）状況
  - 白鷹スキー場の状況
- について説明があった。